

第40回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【男子準決勝】 E 球場（倉吉市営球場） 第 3 試合

高岡中学校（高知県） — 御調中学校（広島）



〈ショートへの内野安打を放つ望岡君〉



〈逆転二点本塁打の岡川雅裕君〉

平成30年8月19日（日） 13：58～15：24

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
御 調	0	0	0	2	0	0	0						2
高 岡	0	2	1	0	0	0	X						3

〈先 攻〉 吉岡慧悟—大前翔夢

〈後 攻〉 平山雅裕—北村拓海

【長 打】 〈本塁打〉 岡川慈宏（御）

〈三塁打〉

〈二塁打〉 北村拓海（高）

【戦 評】

息詰まる熱戦であったが、序盤で3点を先制した高岡中が逃げ切った。高岡中は2回、先頭、平山が単打、次打者北村のレフト線への2塁打で2、3塁とし、御調中のキャッチャーのサードへの牽制悪送球で3塁ランナーが生還。その次打者の犠牲フライで2点を先制。3回は先頭の望岡遥海が三塁へのバント安打で出塁。そのランナーをバント、内野ゴロで3塁まで進め、4番望岡海詩のショート内野安打で1点を追加し3点とした。追う御調中は4回に3番岡川のレフトへの豪快な2点本塁打で1点差としたが、その後は高岡中の平山投手が7三振を奪う力投を見せ、追いつがる御調中に本塁を踏ませなかった。

【勝者インタビュー】

監督談

計画通りに試合に入ることができた。相手は強いチームであり、開き直ってチャレンジできた。特にピッチャーはコースを狙って粘り強く投げた。バッテリーをはじめ他の選手を含め、チーム全体の成長を感じた。決勝でも、チャレンジャーとして臨みたい。

主将談

準決勝は苦しい展開でしたが、みんなが力を合わせて勝つことができて良かった。決勝戦は、絶対に勝って『日本一』になりたいです！

重ねた努力 流した汗 光り輝け 中国の地で